



パスファインダー Pathfinder ～あるテーマについて調べる際に、役立つ資料や調べ方を紹介します～

近世以前に日本で書写または印刷された書籍や記録文書で、現代においてもその価値が認められる「古典籍」。翻刻された活字本や現代語訳のほか、写本や版本などを探すときに役立つ目録・事典類や、インターネットで一般公開されているデータベースを紹介します。

1. 蔵書検索システムで刊本を探す

古典籍の活字本、現代語訳、影印本等が刊本として刊行されている場合には、館内の検索端末(館内 OPAC)や図書館ホームページの蔵書検索(web OPAC)の「書名」に、探している古典籍のタイトルを入力するなどして検索すると、当館の所蔵が確認できます。

2. 目録・事典類で活字本を探す

古典籍が翻刻された活字本を探すには、専用の目録や事典などを使って、単行本のほか、全集等に収載されている活字翻刻等を検索ができます。

■『国書総目録』全9巻(岩波書店 1989-1991年)【025.1/ㄅ/1-9】

国初から1867(慶応3)年までに日本人が著編撰訳した和漢書50万点を収録した総合目録です。書名の五十音順に配列し、書名、著編者、成立のほか、写本・版本の所蔵館名、活字本の有無、複製本などが記載されていますので、活字翻刻が収録されている本を確認できます。

■『古典籍総合目録』全3巻(国文学研究資料館/編 岩波書店 1990年)【025.1/ㄅ/1-3】

『国書総目録』の続編で、『国書総目録』に採録されたもの以後に刊行された全国の図書館・文庫の所蔵目録収録書目のうち、1988(昭和63)年度分までが収められています。

■『日本古典文学大辞典』全6巻(日本古典文学大辞典編集委員会/編 岩波書店 1983-1985年)【910.2/ㄷ/1-6】

国文学全般ならびに国語学、および関連諸学に及ぶ最新の研究成果を集成編纂した日本古典文学の大辞典です。古典文学作品の作品名で項目立てがあり、内容のほか諸本、翻刻などについて記載されているので、活字翻刻が収録されている本を確認できます。

■『日本古典文学全集・作品名総覧』[第1期]・第2期(日外アソシエーツ/編集・発行 2005・2019年)【910.31 ㄷ】

第1期は1945(昭和20)年～2004(平成16)年、第2期は2005(平成17)年～2019(令和元)年8月に刊行された古典文学全集の作品名(固有題名のあるもの)から検索できる索引です。対象となる全集の目次に記載のない細かい作品名も収録されています。巻末付録「解説・資料」では、全集に収録されている解説・解題、年表等の資料を作家名やテーマで検索できます。

■『日本古典文学全集・内容総覧』[第1期]・第2期(日外アソシエーツ/編集・発行 2005・2019年)【910.31 ㄷ】

第1期は1945(昭和20)年～2004(平成16)年、第2期は2005(平成17)年～2019(令和元)年8月に刊行された古典文学全集について、その内容細目を通覧できる事典で、目次に記載がない作品も収録されています。巻末の「作家名索引」では原作者や校注者・訳者・解説の著者から、どの古典文学全集に収録されているかが検索できます。

3. データベースで活字本を探す

古典籍が翻刻された活字本を探すには、目次のデータを入力している図書館等の書誌データ(本の情報)を利用するなど、インターネットで一般公開されているデータベースを利用する方法もあります。

■国立国会図書館サーチ〈国立国会図書館〉

国立国会図書館をはじめ、全国の都道府県立及び政令指定都市の市立図書等が所蔵する資料、デジタルコンテンツを統合的に検索できます。目次入力をしている図書館の書誌データにより、古文書の活字翻刻が収録されている本や全集などが確認できます。(https://iss.ndl.go.jp/)

■国書データベース〈国文学研究資料館〉

国文学研究資料館で運用していた「日本古典籍総合目録データベース」と「新日本古典籍総合データベース」を統合したデータベースです。『国書総目録』『国書総目録』所収のすべての著作・著者、及び、これらの目録刊行後に追加した著作・著者を収録したデータベースで、古典籍の書誌・所在情報(活字翻刻の有無など)、著作及び著者の典拠情報が確認できます。(https://kokusho.nijl.ac.jp/)

4. デジタルアーカイブで写本や版本などの画像を探す

古典籍の写本や版本などの一次資料(原資料)を直接閲覧するのは難しいですが、インターネットで一般公開されているデジタルアーカイブで、一次資料のデジタル画像等を閲覧することができます。

■山梨デジタルアーカイブ〈山梨県立図書館〉

山梨県立図書館が所有する貴重資料等をデジタル化して公開しています。功刀亀内氏が収集した、山梨県の近世・近代の庶民資料「甲州文庫」についても、山梨県立図書館が所蔵していた平成17年までにデジタル化した画像を閲覧することができます。(http://digi.lib.pref.yamanashi.jp/da/top)

「甲州文庫」など、以前当館で所蔵していた古文書等のコレクションについて

- ・山梨県立博物館に移管されたため、現在は山梨県立博物館収蔵資料となっています。
- ・一次資料(原資料)のご利用については、山梨県立博物館 web サイトの「収蔵資料案内」のページをご確認ください。(http://www.museum.pref.yamanashi.jp/2nd_syuzousiryu.html)
- ・「甲州文庫」資料については、一部を「山梨デジタルアーカイブ」で閲覧できるほか、当館では「甲州文庫」資料のマイクロフィルム(白黒2値)を所蔵しています。詳しくは2階サービスカウンターにおたずねください。



■国立国会図書館デジタルコレクション〈国立国会図書館〉*一部一般公開

国立国会図書館が所蔵する図書、古典籍資料などをデジタル化して公開しています。検索結果一覧の右下に「ログインなしで閲覧可能」と書かれているものは一般公開されており、原本のデジタル画像やPDF ファイルを閲覧することができます。(https://dl.ndl.go.jp/)

「送信サービスで閲覧可能」と書かれているものは、当館の利用者用パソコンで閲覧することができます。利用には、職員がID、パスワードを入力します。PC25～PC32のパソコンで利用できます(図書館利用カードが必要です)。

■ジャパンサーチ〈国立国会図書館〉

日本国内の幅広い分野のデジタルアーカイブと連携し、図書、古典籍資料など、多様なコンテンツをまとめて検索・閲覧・活用できるプラットフォームです。(https://jpsearch.go.jp/)

■東京大学史料編纂所データベース〈東京大学史料編纂所〉

東京大学史料編纂所が作成した文書・記録史料の目録データベース、フルテキストデータベース、画像史料データベースなどが、横断検索でまとめて検索できます。(https://wwwap.hi.u-tokyo.ac.jp/ships/)

■ADEAC(アデアック): デジタルアーカイブシステム〈TRC-ADEAC 株式会社〉

全国の各自治体や図書館などの、複数の参加機関が所蔵する古典籍資料や古文書などの情報やデジタル画像を、まとめて検索・閲覧できるプラットフォームです。(https://adeac.jp/)